

平成29年11月20日

守谷市議会議長 梅木 伸治 様

陳 情 者

住 所 茨城県守谷市中央1-4-8

氏 名 守谷市市民ホールをつくる会

樋口 景子

### 守谷市中央公民館改修に関する陳情

#### 【陳情趣旨】

守谷市は、自然豊かなベッドタウンであり、住みよい街ランキング1位にも選ばれました。市制15年で開発が進むと同時に人口7万に近づく勢いです。しかし、心豊かな生活に必要な文化・芸術の施設が乏しく、残念ながら充実した市民ホールがありません。

文化庁においても「文化芸術による元気な日本復活プラン」を掲げており、文化芸術による地域活性化は期待されているところです。

現在、守谷市内において、ホールは中央公民館1つだけです。ここは、30数年前（人口1,2万人）の規模の時に出来たものであり、小さく古いため、使用する際に制限される点が多く、不十分です。つくばエクスプレスができ、集客の範囲が広がり、芸術に触れる幅が広がっているため、幅広い活動に使用することができる守谷市の新ホールを希望します。

#### 【陳情事項】

①守谷市には現在、公民館のホールしかありません。古くて規模が小さいなどの不十分な点が多くあります。様々なサークルが活動していますが、中央公民館ホールではステージが狭く、音楽関係や舞踊の団体での使用ができていません。また、客席数が少ないため、成人式や幼稚園の発表会では、保護者全員がホール内客席に入りきれない状況です。その為、子供たちの発表の場や規模の大きい式典などができるホールが必要です。具体的には、800名入れるホールが必要です。

更に、日本全国や世界で活躍している有能な芸術家たちが守谷に多く在住し、若い世代が活躍しておりますが、残念ながら地元の守谷市で活躍できる場がありません。地元にも新ホールがあることによって、コンサート等の企画・実行がなされ、将来が期待される若手の活躍の場にも繋がります。

住みよい街ランキング1位の守谷市の文化振興のために、新ホールが必要です。

②現在の公民館ホールの設立趣旨は、講演を主に目的としたホールですが、今は音楽・ミュージカル・演劇などに向けた、多目的なホールが多く多くの市民から求められています。

<向いていない理由>

- 1) 舞台と客席の照明が古く、修理が不可能である。
- 2) 音の響きが悪く、マイクを使わないと音が客席まで届かないため、音楽ホールの機能を持ち合わせていない。
- 3) ステージ全体の面積が狭い。
- 4) ステージ袖のスペースが狭いため、グランドピアノの正しい保管ができておらず、長年雑な扱いになっている。楽器を長く使える環境になっていない。
- 5) ステージ後ろの通路暗く狭い。危険である。
- 6) 楽屋や練習室がない。ステージに音が漏れるため、音出しができない。
- 7) モニターがないため、ステージ上の進行状況が分からない。
- 8) 市民オーケストラがコンサートをする際に、演奏者がステージ上に乗りきらない。客席も足りない。
- 9) 幼稚園が利用するお遊戯会に客席が足りない。

③現在の公民館ホールの地盤調査をし、盤石化すべきです。現在のホールの下には水があり、建物の環境としても湿地の影響でカビやにおいが発生しています。入場者や出演者で咳込む人たちも多いです。清潔で快適な環境のホールが望まれます。